

# 令和7年度 愛知教育大学入学試験問題

## 標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

### 【前期日程】

### 科目名：総合問題（家庭専修）

#### I

##### （出題の意図）

衣服の製造工程は環境負荷が大きいと指摘されるようになった。また、日本で販売されている多くの衣服は輸入品であるため環境負荷の把握が困難であるといわれている。しかし、現状を変えていくためには日本における社会的課題として衣服の廃棄削減やリサイクルの仕組みづくりを支援していく必要があるだろう。こうした背景のもと、問1では日本における衣服の資源循環の現状を示すことで、これらの情報を理解し、総合的に論述できるかを問う。問2では現状における課題に気づき、生活者の視点から改善案を提案できるかを問う。

##### （評価の観点）

問1：図から情報を正確に読み取り、理解した上で、現状について総合的に論述することができるかをみる。

問2：衣類の資源循環に関する社会的な課題に気付くとともに、生活者の視点から改善案を論理的に提案することができるかをみる。

#### II

##### （出題の意図）

サプリメントをめぐる健康被害が注目されている。健康被害を回避するためには、サプリメントの有効性と安全性の双方について、正確な情報に基づいて正しく理解しておくことが求められる。そして、サプリメントのメリットとデメリットをよく考え、これを食品としてどのように利用していくかについて、利用しない場合も含めて考えていくことが大切である。IIでは、サプリメントの有効性と安全性に対する考え方についての新聞記事を提示し、サプリメントの利用に対する自分自身の考えを問う。

##### （評価の観点）

新聞記事の論点が正しく読み取れているか、その論点に基づいた形で自分の考えが簡潔かつわかりやすく述べられているかをみる。